



環境教育プログラム「五感を使って、自然体感」

平成25年度初任者研修（全県宿泊研修）が、7月23日から4回に分けて実施されます。3泊4日の2日目に、環境教育、自然体験のプログラムを体験するとともに、プログラム作成に当たっての視点を学ぶ環境教育プログラムを体験します。

今回は、第1回の初任者研修に参加された先生方の様子を紹介します。初任者の先生方も、子どもたち同様、素敵な笑顔で各活動に取り組まれていたのが、とても印象的でした。

- ① 自然で、自然と、自然に遊ぼう！
- ② 自然の中から創り出そう！
- ③ 南但馬の自然を味覚で感じよう！～かんたんアウトドアクッキング～
- ④ ひのき（檜）の下枝で、ひのきーホルダー！～自然物クラフト～
- ⑤ ウォーターレンジャー（すいすい調査隊）
- ⑥ ヤングエイジにタイムスリップ（隠れ家づくり）



それぞれの活動の概略を紹介すると、

「自然で、自然と、自然に遊ぼう！」では、ビンゴカードの各マスに書かれた言葉に該当する木、花、石、草、虫などを探す「森のビンゴ」、葉っぱや木の枝を使い、モデルの似顔絵を作成する「モンタージュ」等のネイチャーゲームを中心に、南但馬自然学校の自然を体感しました。

「自然の中から創り出そう！」では、落ち葉や枝、松かさなどの自然物を使い、班で「テーマ」を考え、作品を作成しました。昨年度は、同じ大きさの葉っぱを集めて、それらを型紙に合わせて切って色を塗るなどのコースターが多くありましたが、今年度は巨大なオブジェが目立ちました。



「南但馬の自然を味覚で感じよう！」では、竹を切り倒して『竹の飯盒』を作りご飯を炊きました。水加減が難しく、米と水は1対2となるようにするのが一番おいしく炊けるようです。その後、余った竹を使い、竹食器や竹はし、竹とんぼなども作りました。

「ひのき（檜）の下枝で、ひのきーホルダー！」では、枝打ち体験から行い檜の下枝を加工していきました。生木なので、小刀を使わなくても手で樹皮を剥がすことができます。紙やすりで磨くと、木の中心部分の赤身やその周りの白木などの色つやがさらにきれいになり、素敵な木のおいもします。

「ウォーターレンジャー（すいすい調査隊）」では、せせらぎ池、佃川、けろトープ、じゃぶじゃぶ池などで、水中生物や周りの様子を観察したり水質調査をしたりしました。

「ヤングエイジにタイムスリップ（隠れ家づくり）」では、基本的なロープの結び方を学び、「ひのきの丸太」「はしご」「ブランコ」などを使い、班員で協力しながら創意工夫を凝らした作品に仕上げました。



先生方の感想には、研修のテーマである「気づき・つながり・支えあう」を意識したものが多くありました。また、子ども目線だけでなく、子どもたちの安全面も考える必要性を感じたという教師目線での感想もありました。以下、それぞれの活動の感想を紹介します。

① 自然で、自然と、自然に遊ぼう！

- ・同じ班の人と目的意識を共有し、協力し合えたことが、とても良かった。また、自然と遊ぶ方法を工夫すれば、学び方も多様になることが分かった。
- ・どこにでもあるような自然の中に、これほど遊ぶネタがあるとは思いませんでした。学校の周りの自然を見直したいです。

② 自然の中から創り出そう！

- ・自然の中の様々な材料を使って班で協力し、一つのものを作る達成感や新たな学びがありました。ぜひ、その作品を学校に持ち帰り、子どもたちに伝えたかったです。
- ・自分で材料を探すところから始め、班での「つながり」をテーマに協力してできたので、良かったです。

③ 南但馬の自然を味覚で感じよう！～かんたんアウトドアクッキング～

- ・班で協力して竹で炊いたご飯は、とてもおいしく、子どもたちにもこんな達成感を感じてほしいと思いました。
- ・竹を切って、加工するときに失敗があったが、その失敗から学ぶことが多かった。竹の中に水が入っており、生きていることを実感した。たくさんの科学が詰まっていることが分かった。

④ ひのき（檜）の下枝で、ひのきキーホルダー！～自然物クラフト～

- ・ひのきキーホルダーづくりは、初めての体験で夢中になるものだった。ひのきを目で、鼻で、手で感じる事ができた。
- ・ひのきの枝からオリジナルのキーホルダーを作る経験は、とても重要だと思いました。子どもへの教材ができたので、帰って早速、図工の時間にでも使いたいです。

⑤ ウォーターレンジャー（すいすい調査隊）

- ・ウォーターレンジャーで、一人では気づけないことも、みんなで調べると楽しさも気づきも倍になり、子どもに返していこうと思いました。
- ・指導補助員で南但馬自然学校にきたことがあるが、水質調査ができるなんて知らなかった。せせらぎ池、けろトープ、じゃぶじゃぶ池など、それぞれの特徴があり環境の違いを学ぶことができた。

⑥ ヤングエイジにタイムスリップ（隠れ家づくり）

- ・今までに体験したことのない本格的な隠れ家ができ、良い経験になりました。協力して一つのものを作る楽しさも徐々に味わうことができました。
- ・班のみんなで知恵を出し合い、声をかけ合いながら、作品を仕上げていった。子どもたちの心に戻り活動しつつも、要所で指導者の視点に立ち、安全面への配慮を考えることができた。

編集後記

自然物クラフトやひのきキーホルダーづくり、隠れ家づくりは、南但馬自然学校で人気のある活動で多くの学校が取り入れられています。また、ネイチャーゲームを取り入れている学校もあります。竹の飯盒や水質調査をしている学校は、残念ながら少ないです。ぜひ、新しい活動にも。今回は、環境教育の視点から「指導課だより」を作成しました。（文責 主任指導主事兼指導課長 北條 勝也）